

## Netz Cup Vitz Race 2012

### 東北シリーズ第2戦

開催日	2012年7月28-29日
開催サーキット	宮城県 スポーツランド SUGO(1周 3,737km)
レース区分	Vitz 東北シリーズ第2戦
ドライバー	松原 亮二
ゼッケン/車名	NO.62 / N群馬 FK 光生 APPVitz
天候	予選:晴れ 路面:ドライ 決勝:晴れ 路面:ドライ
予選順位	1位
決勝結果	1位 (周回数 10周)
参加台数	21台 (完走 21台)

### 35℃を超える猛暑の中行われた東北シリーズ第2戦！

東北シリーズは折り返しの第2戦を迎えました。

今回もスポーツランドSUGOでの開催、スーパーGTのサポートレースとして行われました。

5月の開幕戦、ゼッケン62 松原亮二(N群馬FK光生APPVitz)は、SUGOでのヴィッツレースが初めてながらポールポジションを獲得、ですが決勝ではミスもあり2位となってしまい、全3戦しかないシリーズを考えると、ここでは確実な結果が求められます。

7月27日(金)のネットスカップ占有走行は、梅雨明け直後の青空ではあるものの、35℃を超えるような猛暑の中で行われました。路面温度も50℃を超える勢いです。

1週間前に行った事前テストとは気温が20℃も違うので、この高温下でどのように車とタイヤの変化があるのかを確認、順調にメニューをこなします。



## Qualify 予選 7月28日(土)

天候 晴れ コース状況 ドライ

正午直前の40℃近い気温の中で行われました。

#62松原亮二は、混雑を避けるためタイミングを遅らせてコースイン、計測1周目からトップタイムを記録、2周目にクーリングラップを挟み、3周目に再びアタックしたものの1周目のタイムにはわずかに届かず、ここで#62松原亮二は、この暑さではタイヤの状況などを考えるとこれ以上のタイムアップは無理と判断、ピットで待機します。

2番手とはコンマ3秒ほどの差ですが、結局上位では後半にタイムを伸ばしてくるドライバーは現れず、2戦連続のポールポジションを獲得しました。





## Final 決勝 7月29日(日)

天候 晴れ コース状況 ドライ

予選とは違ってまだ涼しい午前8時台、それでも30℃を少し超える中で行われました。

#62松原亮二はスタートを無難に決め、1コーナーヘトツプで進入。

後方では1コーナーでの2番手争いがあり、やや間隔を広げオープニングラップを1位で通過。

ストレートでは2番手にスリップストリームで少し差を詰められ、コーナー区間でまたその差を少し広げる…レース前半はそんな展開が続きます。

しかしそれは、どうしてもタイヤに無理をかけてしまう状態。2番手はスリップストリームを生かしタイヤを温存できます。

レース終盤からはつねにバンパートウバンパー、1コーナーではサイドバイサイドになりながらも#62松原亮二は最終ラップまで巧みなブロックで抑えきり、そのまま東北シリーズ初勝利を飾りました。

これでシリーズランキングトップ、残すは最終戦のみなので、シリーズチャンピオン獲得に向けて大きく前進しました。

最終戦も油断することなくチーム一丸となり気を引き締めて臨みます。

引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。

